

授業科目 倫理学

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	全科共通
櫻井浩治、渡辺信也		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【概要及び学習目標】					
<p>「倫理学」とは、先哲や昔の賢人の言葉を暗記する科目である、と理解している人も多いかもしれませんが。しかし、種々の報道で「政治倫理」や「生命倫理」といった用語が伝えられているように、「倫理（学）」は、今日に生きる私たちの生活に直結した、大変な広がりや奥行きを持った言葉なのです。とりわけ科学技術の高度化に伴って、「環境」や「生命」が倫理学の問題となる一方、やはり科学技術の進展によって加速されたグローバル化の進行が、多様な文化背景、異なった価値観を持つ人間同士の「共生」という新たな倫理的課題を生み、旧来の倫理概念は全面的な再検討や拡張を迫られる状況に至っています。例えば、近代社会の基本的理念であった「自由」や「平等」をあらゆる人間に無制限に認め、誰もが欲しいままに資源や環境を搾取・破壊するわけにはいきませんし、臓器移植や遺伝子操作の問題に象徴されるように、簡単に「人権」の尊重を言うことが難しくなり、人間や生命とは何かが改めて問い直されています。さらに「人権」に対する「自然」の権利を認める必要も唱えられるようになりました。本講義では、様々な視角から現代の倫理問題を取り上げた最新のテキスト「共生のリテラシー」を手掛かりに、現代の様々なアクチュアルな倫理的課題にはどのようなものがあり、それをどう捉え、どう立ち向かえばよいのかを私たち自身が考えるために、今日の倫理概念の基底を形成した西洋近現代思想における倫理概念の意義と限界を検証しながら、人間存在の布置に対する新たな理解から21世紀の倫理を構築していく必要のあることを、分かりやすく説明していきたいと思えます。</p>					
回数	学習の主題	学習内容			学習方法
1	現代倫理学入門	今、「倫理学」とは何を謂うのか。環境倫理学や生命倫理学など、今日の倫理学の抱える問題を概観する。			講義
2	自由主義の問題	近代社会の基本理念であった自由主義を現代の環境問題に生かし続けることができるか、できるとすればどうすればよいのかを検討する。			講義
3	利潤追求の倫理	自由主義社会における企業の目的は利潤追求であるが、今日「企業の社会的責任」が、特に環境問題との関連で大いに問題とされている。環境破壊に一役買って来た企業の利潤追求に倫理を求めることが可能であるかを考える。			講義
4	自由と平等、公正の問題	2～3と関連して、有限な資源をいかに配分すればよいのか、個人間の自由と平等、平等と公正のバランスをどうとればよいのか、社会契約説や功利主義の議論を踏まえて今日の不平等問題や他者の権利問題にアプローチする途を探る（二回に及ぶ可能性あり）。			講義
5	文化的多様性の問題	多様な文化や考えを持つ他者につきあっていくには、自由主義で十分なのか、「共存」の問題を考える。			講義
6	世代間倫理の問題	資源や環境は私たちだけのものではなく、次の世代も利用するものだが、私たちがいかにして次の世代の権利とそれに対する責任を負うのかを検討する。			講義
7	資源・人口・環境倫理の問題	複雑に絡み合うこれらの問題をどう解きほぐし、いかに対処すればよいのか、その可能性を探る。			講義
8	バイオテクノロジー・生命倫理の問題	爆発的な進歩を遂げつつあるバイオテクノロジーの孕む危険性と、これを回避する倫理的原則を考える。			講義
9	自然の権利の問題	生命や自然を操作する西洋近代科学思想の裏面には、生命や自然共感を説く哲学があった。これを手掛かりに、「自然の権利」を認める自然の哲学の可能性を探る。			講義
10	環境世界の哲学	9と関連して、20世紀の環境思想の先駆的な役割を果たした思想家を取り上げ、人間が環境世界と関わることの意味を探る。			講義
11	日本・東洋の自然観・身体観	生命・環境倫理の問題の深刻化に伴い見直されつつある東洋の自然観・身体観から何を学び得るのかを検討する。			講義
12	エコロジーの問題	近年アメリカを中心に説かれるエコロジカルな思想の主張とその問題点を探る。			講義
13	技術の倫理の問題	倫理問題の複雑化・多様化の一因をなす科学技術に対処する方策を、人間と自然との関わりとの対照において考える。			講義
14	21世紀の倫理	以上の講義内容を総括し、今世紀における人間の倫理的課題を再考する。			講義
15	予備日または試験				
（講義の順番は変更することがあります。）					

【評価方法】 筆記試験を行う。
【履修上の留意点】

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
テキスト	「共生のリテラシー—環境の哲学と倫理」	加藤 尚武	東北大学出版会	2001年
参考図書	「現代倫理学入門」	加藤 尚武	講談社現代文庫	1997年 他